

室町祭

同志社大学室町キャンパス
～知とビジネスの交流祭～

室町キャンパスにある寒梅館には、ビジネス研究科、司法研究科の2つの専門職大学院の他に知とビジネス交流を活性化させる団体、リエゾンオフィス、NPO法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク、ITECがあります。知とビジネス交流の促進のため、このたび初の「知とビジネス交流祭」を開催致します！

日時・場所 **2019年2月16日(土)**

同志社大学 室町キャンパス 寒梅館211教室

〒602-0023京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103 寒梅館

- セミナー 13:00～ リエゾンオフィス・ビジネスプランコンテスト2007年優勝者
田中 淳士氏 (株式会社食一 社長)
- 14:00～ 司法研究科同窓会・『寒梅会』より
上田 隆貴氏 (日本橋法律事務所 弁護士)
- 15:00～ ITEC(同志社大学技術・企業・国際競争力センター)
田口 聡志氏 (同志社大学商学部商学科 教授)
- 16:00～ D-BRIDGE・社会起業家養成塾卒業生より
日下部 淑世氏 (株式会社めい 共同代表)
- 17:00～ DBSネットワーク共催第77回未来経営塾セミナー
宮垣 健生氏 (但馬信用金庫 常勤理事)
- 交流会 18:00～ 寒梅館アマーク・ド・パラディーにて

参加申込み・参加費

以下 URLからお申込みください。

<https://goo.gl/forms/f96Nv07kCY1yzZ512>

右記のQRコードでもお申込できます→→→→→→



セミナー参加費 無料

交流会参加費 一般 5000円、D-BRIDGE会員 4000円

学生 1000円(要・学生証の提示)

お問合せ

DBS(同志社ビジネススクール)ネットワーク

〒602-0023 京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103

info@dbs-network.com 担当:西村

主催

D-BRIDGE(NPO法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク)

ITEC(同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター)

DBS(同志社ビジネススクール)ネットワーク

同志社大学大学院司法研究科アラムナイアソシエーション 寒梅会

後援

同志社大学リエゾンオフィス

講演詳細



田中 淳士 氏（株式会社食一 代表取締役社長）

講演13:00～13:50 リエゾンオフィス・ビジネスプランコンテスト優勝者

『これからの水産漁業とIT』

一次産業というITとはかけ離れた世界の業界。

水産業の世界に生まれ、水産業を愛し、新しい水産業の在り方を推進していく食一。数百という漁港を回り、豊富な現場経験をもとにこれからの水産業とITのヒントをお話いたします。



上田 隆貴 氏（日本橋法律事務所 弁護士）

講演:14:00～14:50 司法研究科同窓会『寒梅会』

『パラダイムシフトとレジリエンス力』

テクノロジーの発展による「在り方」の変化と、今、リーダーに求められている能力が何かをお伝えします。そして、当該能力をどのように習得できるかもお話できたらと思います。



田口 聡志 氏（同志社大学商学部商学科 教授・公認会計士）

講演:15:00～15:50 ITEC(同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター)

『未来の経済をデザインする:実験社会科学からのアプローチ』

AIなどの新しいテクノロジーの進展が未来社会に及ぼす影響について、近年注目を浴びている実験経済学・行動経済学を用いて検討することで、ヒトとAIとの共存をどのように進めていくかを考えるヒントを探ります。



日下部 淑世 氏（株式会社めい 共同代表）

講演16:00～16:50 D-BRIDGE社会起業家養成塾卒業生

『あたたかいビジネスとテクノロジー』

豊かさとは何か。大学卒業直前3.11と同時発生した問いの解を示すため株式会社めいを創業しました。ビジネスやテクノロジーは無機的な響きはらみつつ、私たちの暮らしを豊かにしてくれます。不動産投資によるコミュニティ参加といった弊社事業を具体例に交えてお話します。



宮垣 健生 氏（但馬信用金庫 常勤理事）

講演17:00～17:50 DBSネットワーク共催第77回未来経営塾セミナー

『地域創生に愚直に取り組む

～リレーションシップバンキングに軸足を置いた但馬信用金庫の取り組み～
金融業務には、決済取引や金融商品販売などの“取引・商品”を軸とした「トランザクションバンキング業務」と、顧客との信頼関係の下で行う“相談・コンサルティング”を軸とした「リレーションシップバンキング業務」とがあります。現状、トランザクションバンキング分野は、Fintechなどの台頭により、めまぐるしい革新をとげています。一方のリレーションシップバンキング分野においても、従来の個別企業支援を超えて、地域で面的なプロジェクト創出支援に取り組んでいるケースについてご紹介します。